

音声解説 女性ホルモン投与、メリデメ副作用などの知識 全て話します

女性ホルモン投与、メリデメ副作用 音声解説♡

今回は男性が女性になるために通る道の一つとして
女性ホルモンや女性化の手術などのメリデメおよび副作用について
音声で詳細に公開します

今や女装が一般的になり
女性物の下着や服装を着ることで楽しめたり
男性が女性のような豊満な胸や性器など
いわゆる外見を変化させることや
女性ホルモンを投与することによる
内部から女性化される方
または両方を目指している方がとても増えてきていると感じています

下着や服装を楽しむまでであればいいですが
外科手術やホルモン投与などはやはり少なからず体への負担が強いられます

豊胸手術をしても思ったより大きくならなかったり
イメージしたような胸の形にならなかったり
ホルモン投与してみたところメンタルに影響し自律神経を乱されたりと
メリットだけではありません

この記事はこれから女性化を本気で目指される方へ贈る
女性化によるメリットデメリットをしっかり把握し
後悔しない選択をしていただくためのアドバイスをさせていただければと思っています

筆者は医者ではないのですべてにおいて自己責任となること
および各トピックで言い切ることはありませんが
筆者自身が経験したことを踏まえ余すことなくお伝えしたいと思います
そして文章だけでは中々伝わらないと思い音声による解説を行っています

この音声解説の全文も記載していますので
音声解説とともに読みいただくと更に理解が深まるかと思います

※本編は音声での解説となります

みなさん、こんにちは。

さて本日は、**「女性ホルモンの全て」**と題しまして、女性ホルモンを投与することに関心のある方々、あるいはその知識を得たいと考えている皆様へ、包括的な情報をお届けしたいと思います。

たくさんのご質問をいただく中で、「女性ホルモンを服用したいけれど、どうなの？」というお声が多く寄せられています。女装をされる方や、そもそも女性を目指されている方にとって、女性ホルモンはより女性らしくなるための強力な味方となるでしょう。

個体差はありますが、通常、男性は女性ホルモンが1に対して男性ホルモンが9、女性はその逆で女性ホルモンが9に対して男性ホルモンが1という比率で、両方のホルモンが体内で作られています。これらのホルモンの多くは生殖器で作られ、その命令は脳から出されます。

ご自身の「女性らしさ」を一層際立たせるためにも、ホルモンがどのような影響や弊害をもたらすのか、一つ一つご理解を深めていきましょう。

1. 女性ホルモンの種類と効果

まず、女性ホルモンは主に2種類のホルモンで構成されています。

(1) エストロゲン（女性らしさを出すホルモン）

エストロゲンは、エストロン、エストラジオール、エストリオールの3種類からなるステロイドホルモンの一種で、一般的に女性ホルモンと呼ばれています。その語源は、ギリシャ語の「estrus（発情）」と「-gen（生じる）」に由来し、分泌がピークになると発情すると言われたことから名付けられました。

男性の場合もエストロゲンは作られますが、その量は更年期の女性と同程度で非常に微量であり、テストステロンを元に作られます。

エストロゲンによる主な作用としては、以下の点が挙げられます。

- 乳腺細胞の増殖（おっぱいが大きくなる）
- 代謝アップ
- 女性化（思考や意識、体つきなど）
- 精神の安定
- 皮膚薄化（皮膚が白くなる）
- 肌の艶アップ

また、植物性のエストロゲンとして、大豆に含まれるイソフラボンや、より作用が強いミロエステロール、デオキシミロエステロールなどがサプリメントとして販売されています。

(2) プロゲステロン

プロゲステロンは、特に女性の体において、子宮を妊娠の準備をするように変化させたり、月経周期を決めたり、妊娠を維持させたりする役目を果たすホルモンです。このホルモンは男性にはほぼありません。

ホルモン投与として治療される場合、プロゲステロンはエストロゲンとの併用投与がほとんどです。

プロゲステロン投与時の主な症状としては：

- 栄養や水分をとどめようとするため、**むくみやすくなる**
- **体温が高くなる**
- おっぱいを大きくする

(3) 男性ホルモン（テストステロン）

参考として、男性ホルモンであるテストステロンは、筋肉量を増やす（がっちりさせる）、性欲を起こす、攻撃性を持つ、集中力ややる気を出すといった作用があります。

2. 女性ホルモン投与による影響（実体験も含め）

男性が女性に近づくために女性ホルモンを投与した場合、身体や精神に大きな変化が生じます。投与は一般的にお医者様から処方してもらうのが基本ですが、現在では外国からの輸入も容易になっており、服用にはしっかりとした知識が必要です。

(1) メリット（女性化）

投与による女性化のメリットは多岐にわたります。

- 肌が白くツヤツヤになる
- おっぱいが大きくなる
- 女性らしい体系になっていく
- **性格や思考が女性らしくなっていく**
- 髪がきれいになる

(2) デメリット

女性化を目指す上で、避けて通れない多くのデメリットも存在します。実体験も多く含まれていますが、全員に悪い症状が出るわけではありません。

- 一度摂取すると**元に戻らない**（半年以内の投与なら戻る可能性がある）
- **ED（勃起不全）になる**
- 体重の増化（腰回りへの脂肪沈着）

- ・抑うつ的な気分や情緒不安定
- ・自律神経障害（体温調整機能の低下など）
- ・眠くなりやすい、ホルモンが切れるころに吐き気が出たりする
- ・思う以上に胸が大きくなる（個人差が大きい）

特に、投与を始めて半年間くらいは**精神の不安定さ**を感じる人が多いようです。男性から女性を目指す過程で、ホルモン切れが起こると、一気に落ち込みやすくなったり、「諦めて男性に戻ろうか」と考えたりするなど、強い揺れが生じます。

また、「ホルモンボケ」と呼ばれるデメリットも確認されています。これは、自信過剰になる、思考力が低下する（気持ちの乱高下）、キレやすくなる、不安感（特に男性に戻りたくなったりする）、涙もろくなる、競争心が無くなる、落ち込みやすくなるといった症状です。

（3）おっぱいの成長について

おっぱいの成長度合いは完全に人それぞれであり、G 級まで巨大化する方もいれば、B カップ程度までしか成長しない方もいます。これは、**元々その人が持つ女性ホルモンの受け皿の大きさ**に影響されます。

3. 女性ホルモンによる副作用

女性ホルモンの副作用、特に精神面への影響は非常に辛いと言えます。

エストロゲンには「精神状態の安定化」のメリットがありますが、ホルモン量には一定の周期が存在します。男性が投与したホルモンが切れてくると、女性の生理前に近い精神的な不安定感がやってくることがあり、これを**「ホル切れ」**と呼びます。

プロゲステロンは乳房増大に効果があるという論文もありますが、メンタルを不安定にし、自律神経の乱れや肌荒れを起こすといったネガティブな面も多く記載されています。

男性から女性化を目指す際のメンタル面の悪化は、状況によっては自傷を伴うことが多いという事実もあります。対抗策として、趣味やお風呂、ウォーキングといったスポーツが効果的だとされています。

4. 女性ホルモン剤の種類と価格例

主にホルモン療法に使われるのはエストロゲン製剤で、エストロゲンには E1、E2、E3 の 3 種があります。

（1）剤型とリスク

- ・**内服薬（錠剤）**：主に E1 を含むプレマリンなどがあります。比較的スピーディに服用を開始できます。しかし、注射より肝臓に負担が大きく、**血栓ができやすい**というリスクがあり

ます。

・ **注射、パッチ、塗り薬**：E2 単体の注射などがあります。

外面に変化が出始めるのは服用を開始して数ヶ月が経ってからで、乳腺が発達し、肌のキメが細くなり透明感もアップしていきます。錠剤には限界があり、注射による療法は強力です。

(2) 価格例

ホルモン剤の料金は高額ではない例も示されていますが、投与量や周期には個人差があり、必ずお医者様の指示に従うことが重要です。

5. 性同一性障害（GID）とは 診断手順の 3 つ

「性同一性障害」（GID）とは、心と体の性別が一致していない状態をいいます。身体的には男性だが性別は女性であるという自覚がある方を **MTF**（Male to Female）と呼びます。身体治療を適切に進めるためには、厳格な診断手順が必要です。

(1) 精神的診断

精神科の専門医 2 名などとの丁寧な面談を通じ、性別違和の出現時期や程度、家族構成、恋愛対象、リアルライフエクスピアリアンス（実生活）の実現状況などを詳細にひも解きます。心理テストも行われ、描かれた絵を通じて臨床心理士が詳しく心理分析を行います。これらの情報に基づき、2 名の精神科医が意見書を作成します。

(2) 身体的診断

精神的な性同一性とは異なる身体的特徴を備えていることを検証します。

染色体検査（遺伝学的に正常な 46XY 型であること）を行い、性別の違和感が染色体異常によるものでないことを確認します。また、泌尿器科医などの診察により、それぞれの性別に特有な生殖器が正常な状態で存在することを確認します。

(3) 治療の整合性

精神的、身体的な診断が終了した後、有識者からなる第三者組織に身体治療の適否を判定してもらうため、意見書や診断書を提出します。

この会議で身体治療が適切であると判定されれば、治療を開始できます。性別を変更するためには、まずホルモン治療の開始の承認を得ます。ホルモン治療を **少なくとも 1 年以上継続**し、身体的な変化が十分に表れた段階で、いよいよ性別適合手術の適否判定を申請します。この診断から実際の投薬に至るまでには、**半年から 1 年**という時間がかかります。

6. 実際の治療（療法）方法

（1）ホルモン注射

女性ホルモン（エストロゲンまたはプロゲステロン）を筋肉注射によって投与します。周期はおおよそ1～2週ごとです。錠剤やクリーム、シールなどの剤型は吸収が不安定な場合があるため、医療施設では注射による投与を推奨することが多いようです。

ホルモン注射は、乳房増大、体毛やヒゲの減少、頭髮増加、筋肉減少、体脂肪の蓄積、肌質の変化といった女性化を進めます。その一方で、**精巣・前立腺は委縮して機能しなくなり**、ED（勃起不全）の原因となります。性腺の変化は、投与を中断しても元には戻りません。

（2）外科的治療

ホルモン治療だけでは十分なサイズが得られない場合、乳房インプラントやヒアルロン酸を用いた豊胸術を行います。また、喉仏の一部を削る手術や、声帯を調整して声を高くする手術を行う場合もあります。

男性の豊胸手術の例として、女性ホルモン剤を投与せずとも手術のみで大きな胸を作ることとも可能です。

豊胸手術の種類

特徴

価格例

シリコンバッグ豊胸

大幅なバストアップが可能です。脂肪量が少ないためバッグの輪郭が出やすく、不自然な見た目や硬い触感になりやすい。

100万円前後

ヒアルロン酸豊胸

安価で手軽ですが、触感が硬くなりやすい。皮下への注入となるため、違和感が出やすい。しこりになる可能性もある。

片側10万円前後（左右で約20万円）

脂肪注入豊胸

見た目、触感ともに最も自然な仕上がりが期待できる。大量注入するとしこりになる可能性がある。

約150万円から200万円

7. 性別適合手術（SRS）

ホルモン治療を1年以上継続し、身体的な変化が十分表れた後、性別適合手術（SRS）の適

否を再申請します。

MTF（女性化）手術では、泌尿器科医と形成外科医が連携し、陰茎・両側精巣切除と尿路変更手術を行い、膣を形成します。2～3週間程度の入院が必要です。

（1）術後の注意点

術後は非常に大変で、体が傷を修復しようとして**作った膣の穴を塞いでしまう**ことがあります。これを防ぐために、棒状のもの（ダイレーター）で穴を固定する**ダイレーション**というセルフケアを1年以上続けなければなりません。

（2）性機能と生殖能力

人工的に作られた膣でエ○チ（性行為）は**可能**ですが、**子供を作ることは永久的にできません**。これは生殖能力を永久的に失わせる手術であり、元に戻すことは不可能です。

（3）手術の手法

膣形成の手法には主に二つがあります。

1. **陰茎会陰部皮膚翻転法**：陰茎、精巣を除去した陰嚢の皮膚を血流を残したまま移植し、膣を形成します。感覚（クリトリス）を残すため、陰茎亀頭の一部も移植します。術後約1年間は無感覚であることが多いです。術後3ヶ月以上、1日2～3回程度の定期的なダイレーションが必要になります。

2. **大腸法（S字結腸法）**：S字結腸の一部（10数cm）を使用して膣を作ります。性交渉を重視する場合に用いられ、分泌される腸液が濡れた時の液体（バルトリン腺液）に似た効果を与えます。術後の膣収縮が少なく、**ダイレーションの回数が少ない**という利点があります。欠点としては、常に腸液が分泌し続けるため、ナプキンなどを常時しなければなりません。どちらの方法も血行の保持が難しく、うまくいかない場合は皮膚組織が壊死して脱落する可能性があります。

（4）料金

SRSは自由診療となり、その金額は**およそ100万から200万円**です。タイ王国などアジア諸国でも手術が可能で、タイでは60万から100万円程度（200万円近くなることも）で対応するそうです。

8. 最近の女装子さんの性事情とは！？

現代の医療によって、体を変化させていくことは限りなく完成に近づけられます。女装子さ

んとして活躍・生活する上では、ホルモン療法のみ、あるいはホルモン療法と豊胸手術までを選ばれている方が多いようです。

実際の性事情として筆者が言及しているのは、**アナルセ○クス**です。筆者は、この技術や「メスイキ」を通じて得られる快楽の強さが、自身の寂しさや欲求を満たしてくれると述べています。

性適合手術を行えば二度と男性には戻れませんが、それ以前にウケとしてアナルセ○クスの強烈な快楽を知ってしまうと、**それ以上に男に戻ることはできなくなる**、と筆者は述べています。

筆者からのアドバイスとしては、女性としての快楽を得たいが男性でいたい場合、メスイキに留めておくことで、まだ男性でいられるということです。

結び

今回の情報は、専門的な言葉やシリアスな内容が含まれていたかと思います。女性ホルモンや性適合手術は、女性として生きていこうと考えたときに真っ先に思い浮かぶ選択肢でしょう。

女性化を本気でお考えであれば、それは簡単な決断ではないはずです。しかし、状況や一瞬の迷いで道を決めるのではなく、**しっかりと知識を持って**今後の人生を歩めるよう、この情報が一助となれば幸いです。

あなたの人生は、まさしくあなたのものです。心の平穏を取り戻す唯一の方法は、心から女性になれたという状況なのかもしれません。人生を謳歌していただきたいと心から願っております。